

3 本年度の努力事項 【 思考力・表現力： _____ 思いやり： _____ 】

「努力・実践事項」 【キーワード…思考力・表現力と思いやり】	知	■目標……………確かな学力の定着 ■手段・ゴールイメージ 1 45分の授業の充実を図るとともに、振り返りの時間（習熟）を5分以上確保し、「分かる授業」「鍛える授業」を目指し、児童に確かな学力を身に付けさせ、各種学力検査で全学年、全領域で平均（全国・県）を上回るようにする。 2 簡潔で分かりやすい指示・発問に努め、90%以上の児童が集中して話を聴いたり、自分の考えを進んで発表したりすることができるようにする。 3 ICT機器等を活用して個人や集団でしっかり思考する場を工夫するとともに、対話を通して、児童同士が教え合い、互いを高め合いながら、考えをまとめていくことができるようにする。 4 読書指導や読み聞かせの充実を通して、1週間に1冊以上借りる等の個人読書目標をもたせ、100%の児童が目標を達成できるようにする。
	徳	■目標……………豊かな心の育成 ■手段・ゴールイメージ 1 あいさつや返事、礼儀の指導を徹底し、学校や家庭、地域で時と場に応じたあいさつやお礼など、90%以上の児童が達成できるようにする。 2 思いやりのある行動や丁寧でやさしい言葉遣いを90%以上の児童ができるようにする。 3 ろうか歩行や室内での過ごし方など、自ら考えて判断・行動し、90%以上の児童がけじめのある行動がとれるようにする。 4 学校・地域における行事やボランティア活動等に90%以上の児童が進んで参加し、貢献できるようにする。
	体	■目標……………たくましい体の育成 ■手段・ゴールイメージ 1 体育指導法の充実を図り、90%以上の児童が全力で運動に取り組ませる。また、友達と協力しながら競技することができるようにし、「県体力テスト」でA及びB判定の児童が70%以上になるようにする。 2 「学校で天気の良い日には、昼休みに友達と仲良く外遊びをしている」と回答する児童が90%以上になるようにする。 3 立腰指導をし、「様々な場面で姿勢に気を付けている」と回答する児童が90%以上を達成できるようにする。 4 家庭と連携して生活リズムの改善やメディアの利用の注意喚起を図り、「8時間以上の睡眠をとり毎朝朝食を食べている」と回答する児童が100%になるようにする。
	重点目標 IV	■目標……………連携教育の推進 ■手段・ゴールイメージ 1 保育園への訪問や保育園生の小学校体験などの相互の交流の充実を図り、互いのよさを味わわせるとともに、職員間の研修や交流も行い、連携した教育を推進する。 2 町教職員研修会や町教育の日、集合学習等への積極的な取組を通して、小小・小中の連携した教育の充実を図る。 3 コミュニティスクールとしての機能を生かし、家庭・地域との連携を深め、家庭や地域社会の教育力の積極的な活用を図る。 4 ホームページを活用し、家庭や地域に学校行事や児童の様子を発信し、情報提供を図る。